

日本神経摂食嚥下・栄養学会  
ホームページバナー広告 趣意書

日本神経摂食嚥下・栄養学会 代表理事 平野牧人

拝啓 皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

本会は、厚生労働省精神・神経疾患研究委託費「神経疾患の予防・診断・治療に関する研究班」、2003 年度からは「政策医療ネットワークを基盤とした神経変性疾患の総合的研究班」(ともに湯浅班) の班員による「摂食・嚥下障害勉強会」が原点であり、その後、厚生労働省 筋ジストロフィー研究班(川井班) の支援を得て、日本神経筋疾患摂食・嚥下・栄養研究会としてスタートしました。

2005 年 8 月 20 日の第 1 回学術集会長崎大会より 15 回の学術集会を積み重ね、2019 年の岐阜大会において、「日本神経摂食嚥下・栄養学会 (The Japan Society for Deglutition and Nutrition in NeuroMuscular Disorders : JSDNNM)」と改称することが会員総会で承認され、学会として新たなスタートを切りました。

本学会は、脳卒中・神経難病・筋疾患など、脳神経内科が関わるすべての疾患の摂食嚥下・栄養障害について、脳神経内科・耳鼻咽喉科・歯科・リハビリテーション科・消化器科・呼吸器科などの専門領域の医師と、管理栄養士・言語聴覚士・看護師・歯科衛生士・臨床心理士などの医療職、さらには倫理の専門家などの方々との連携を深めていく学術集団を目指しています。

脳神経内科領域では、ファーストタッチから終末期までの医療において、摂食嚥下・栄養障害についての対応が求められます。本学会では、基礎・臨床研究を推進する学術集団として、この医療に関わる関係者が、平素の経験を分かち合い、解決の糸口を見いだせる学会をめざしています。

本学会は「学術大会の開催(年 1 回)」、ホームページ上の「e-ジャーナルの発行(年 1 回)」「コラム掲載(月 1 回)」などの活動を行っております。

2023 年より、財政的な基盤を強化する取組として、本学会ホームページへのバナー広告を下記要項にて募集を行います。

本学会へのさらなる円滑な活動と運営のためご支援賜りたくお願い申し上げる次第です。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

情報公開について製薬企業の活動における医療機関等との関係の透明性・信頼性向上の為、医療機関および医療関係者等に対する寄付・広告等の支出に関する情報を、製薬企業が自社のウェブサイトで公開する事に伴い、共催費用の支払いに関し貴社のウェブサイトで公開される事に同意します。

敬具

2025 年 10 月